

令和元年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力

「サヤト・ノヴァ村持続可能な灌漑システム構築計画」贈与契約への署名

令和2年3月25日、日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「サヤト・ノヴァ村持続可能な灌漑システム構築計画」（贈与金額：66,224米ドル（7,284,640円）に対する贈与契約への署名が当館において実施され、山田在アルメニア日本国大使と被供与団体である経済研究・開発支援センターNGOのルーベン・サルカニャン代表が贈与契約に署名しました。

本案件は、アララト州サヤト・ノヴァ村において、既存の灌漑施設を拡張するための灌漑用パイプライン（520m）及びその動力源となる太陽光発電設備を整備するとともに、農家を対象に職業訓練を行うことにより、農作物の生産高を向上させ、同地域住民の所得向上に寄与するものです。また、同地域の水資源・農地の有効活用、持続可能な開発の促進が期待され、同村に居住する320名の農家及びその家族が裨益することが見込まれています。